



本日のテーマ「一緒にどうぞ」

実施日：2018年5月27日

1

「団地で暮らそう！」

長野まゆみ／著 2014年 毎日新聞社 【Nナ】

「世界一美しい団地図鑑」

志岐裕一／編・著・写真 2012年 エクスナレッジ 【527.8】

「団地」についてのウキウキが綴られた団地小説と、その様子が見て楽しめる図鑑のセットです。

トムの和→洋への変遷や、そこから辺にあった焼却炉、お風呂のバランス釜…など昭和生まれには懐かしく、平成生まれにはものめがらしく読んでいただけるのではないのでしょうか？



2

「活版印刷三日月堂 星たちの架」

ほしおさなえ／著 2016年 ポプラ社 【SNホ】

「紙ものづくりの現場から ブックデザイナー・名久井直子が訪ねる」
グラフィック社編集部／編 2015年 グラフィック社 【022】

活版印刷の仕上げの温かさや、活字の力強さが文藝から伝わってきます。

本を取りまくものづくりに関わる人々と、その製造工程を、七よとのといてみませんか？



3

「きみのためのバラ」 池澤夏樹／著 2007年 新潮社 【Nイ】

「世界で一番美しい空港」 2014年 エクスナレッジ 【687.9】

沖縄、バリ島、ヘルシンキ、モレリア（メキシコ）…世界のあちこちを舞台に人との出会いや不思議な時間が流れる8つの物語。海外を旅してみたくてよしまあ、お金も時間もたないという方は、せめて空港へ。というところからどうやら、世界一美しい空港がとれる本である。



4

「時知らずの庭」 小森香折／作 2017年 BL出版 【Nコモ】

「へんてこりんな植物」 2015年 パイインターナショナル 【470】

時知らずの庭は、ほかのどこにもない植物がたくさんあるとくわつな庭です。リスのホッポは、そこで庭師の見習いも始めました。かあった植物は、物語の中だけではありません。実在するへんてこりんな植物も一緒にどうぞ!!



5

「太宰府オルゴール堂 独身貴族の探偵帳」

篠宮あすか／著 2015年 双葉社 【LSNシ】

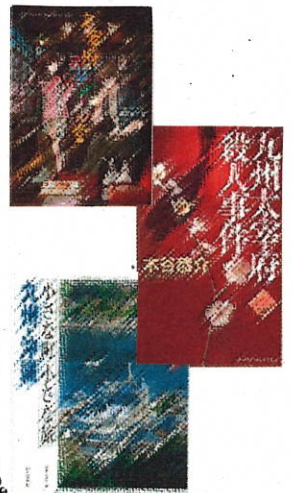
「九州太宰府殺人事件 長編旅情ミステリー」

木谷恭介／著 2012年 有楽出版社 【LNコ】

「小さな町小さな旅九州・沖縄」

宮川透／写真 2007年 山と溪谷社 【291.9】

地元太宰府の風景と文章で楽しんでみませんか。見知らぬ所がでてくるので懐かしく思う人もいます。特に「太宰府オルゴール堂」はその昔、太宰府天満宮参道にあったオルゴール店のモデルです。「九州太宰府殺人事件」も太宰府の歴史や和歌を物語で見ることができて勉強にもなります。



6

「西洋菓子店プティ・フル」

千早茜／著 2016年 文藝春秋 【Nチ】

「特別な日のためのデコレーションケーキとプティフル」

熊谷裕子／著 2013年 河出書房新社 【596.6】

甘くて美味しそうなおスイーツがたぐりたぐりてきまぐれに、店に関わる人たちの決して甘くない人生模様が描かれていまあ。お菓子は、たぐりたぐりてきまぐれに、こころに生活を鮮やかにしてくれているおはなれと思ひます。スイーツを希望!!



7

「蜂蜜秘密」 小路幸也／著 2013年 文藝春秋 【Nシ】

「ミツバチの教科書」 フォーガス・チャドウィック／著 他 2017年 エクスナレッジ 【646.9】

奇跡の蜂蜜といわれるホロウの蜂蜜。そんな蜂蜜をつくるホロウの村に転入してきた少年レオと村で出会う少女サリーの物語。登場人物はやさしい人ばかりで、読んでいて心あたやかにたえます。ミツバチについての情報がたぐりたぐりた「ミツバチの教科書」も一緒に。ハチの花蜜介活動は、年間17兆円以上の経済効果だそうですよ!

